

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2005-330482(P2005-330482A)

【公開日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-047

【出願番号】特願2005-124885(P2005-124885)

【国際特許分類】

C 08 G 59/20 (2006.01)

C 08 J 5/24 (2006.01)

B 29 C 70/06 (2006.01)

B 29 K 63/00 (2006.01)

B 29 K 105/08 (2006.01)

C 08 L 63/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 59/20

C 08 J 5/24 C F C

B 29 C 67/14 G

B 29 K 63:00

B 29 K 105:08

C 08 L 63:00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月14日(2008.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造のうち少なくとも1種の構造を有するエポキシ樹脂と、硬化剤とを含むエポキシ樹脂組成物であって、全エポキシ樹脂の重量平均分子量が1200～3000であるエポキシ樹脂組成物。

【請求項2】

全エポキシ樹脂100重量%中、複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造のうち少なくとも1種の構造を有するエポキシ樹脂を5～60重量%含む請求項1記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項3】

前記複素環式構造が、オキサゾリドン環、イミド環、トリアジン環、キサンテン骨格から選ばれる少なくとも1種である請求項1または2に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項4】

前記縮合環式構造が、ナフタレン環、ジシクロペンタジエン基、フルオレン基から選ばれる少なくとも1種である請求項1～3のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項5】

前記複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造が、ビフェニル基、ビナフチル基から選ばれる少なくとも1種である請求項1～4のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 6】

前記複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造を有するエポキシ樹脂の重量平均分子量が200～1000である請求項1～5のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 7】

全エポキシ樹脂100重量%中、重量平均分子量が3000～10000のエポキシ樹脂を20～60重量%含む請求項1～6のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 8】

前記複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造を有するエポキシ樹脂と、重量平均分子量が3000～10000のエポキシ樹脂との配合比率が重量比で0.5～2であり、それらの配合量の合計が全エポキシ樹脂に対して50～100重量%である請求項1～7のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 9】

25における粘度が0.001～1Pa·sであり、環状骨格を有する反応性化合物を配合した請求項1～8のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 10】

請求項1～9のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物を硬化せしめて得られる硬化物と、強化繊維とを含んでなる繊維強化複合材料。

【請求項 11】

請求項10に記載の繊維強化複合材料からなる層を10～100体積%含んでなる管状体。